

特集 議会×須恵町文化協会 座談会

文化を伝える 文化協会の声を聴きました

社会生活を豊かで潤いあるものにする文化。
須恵町文化協会は、伝統的な文化、また、現代的な文化を、それぞれの活動を通じ、なお一層の、相互の親睦と融和を図り、会員が楽しく活動し、文化の輪を広げるなど、須恵町の文化の発展に寄与しています。



松山 力弥 議長 田ノ上 真 議員

今村 桂子 議員 三角 栄重 議員 稲永 辰己 議員

令和4年2月25日対談

心の健康・豊かな生活 ・文化の華咲く須恵町へ

平成7年から、カラオケをしています。発表会では、自分が主役になれる。ドキドキしたり緊張しますが、とても楽しいです。

副会長 祝 シゲ江 さん



詩吟の伴奏を尺八と琴と一緒に演奏するなど、他のサークルとのコラボや交流ができて楽しいです。

副会長 入江 潤三 さん



多くの人と知り合い、仲良くなる。事業が終わった時の達成感を皆さんと分かち合える事が素晴らしいです。

会長 石津 サナエ さん



糟屋地区美術展の当番町の時には、展示スペースの工夫や、作品の破損に注意するなど大変でしたが、役員さんの協力があり好評でした。とにかく、皆さん仲が良いです。

広報室長 吉松 信昭 さん



皆でおしゃべりをして、好きな事にトライ。練習を積んで発表する。長年続ける事で健康にプラスになる。好きな事をして、元気になるなんて、幸せな事です。

事務局 今泉 真弓 さん



歴史は？

須恵町文化協会のあゆみを教えてください

文化協会
昭和59年9月に設立し、38年目となりました。昭和60年の発足時は、51サークル、510人でスタートを切りました。

文化協会
発足当初は、町より指導・助言をいただきながら、文化祭で各部が工夫して発表する程度でした。

文化協会
平成6年にアザレアホールが建設され、文化協会の拠点として活動させていただいています。

組織の体制は？

組織の体制はどうなっていますか

文化協会

3つの部門に分かれています。

- ・教養部門には、華道・茶道・学芸・文芸の4部会
- ・美術部門には、写真・書道・絵画・陶芸・工芸・手芸の6部会
- ・芸能部門には、弦楽・邦楽・器楽・和舞踊・洋舞踊・歌謡・声楽・芝居の8部会があります。

文化協会

現在、27サークル、343人で活動しています。

活動の目的は？

どのような目的をもって活動していますか

文化協会

文化を通して、町民の明るく潤いのある生活の醸成を図っていく。また、会員が和気あいあいと活動できるように、相互の親睦を深めていくなどの目的をもって活動しています。

文化協会

美術展への出品や芸文祭への参加、また伝統楽器の演奏（太鼓、琴など）に触れる機会など、各学校と連携して、子どもたちが文化に触れ参加する機会をつくり、文化を継承する目的もあります。

活動内容は？

活動する中で、どのような事業をされていますか

文化協会

それぞれのサークル活動をする中で、発表する場をつくり、広報誌「うぐいす」で活動を発信したりしています。

〈主な催し〉

- ・芸文祭 前期7月、後期2月
- ・須恵町美術展 10月
- ・会員研修 5月
- ・理事研修 3月

文化協会

須恵町文化講演会を主催したり、アザレアホールのクリスマスイルミネーションの設営、地域奉仕活動などにも取り組んでいます。

課題は？

課題はありますか

文化協会

会員の高齢化が進んでいます。年齢の裾野を広げる活動が課題です。

文化協会

アザレアホールの使用について、使用料や優先予約などの、文化協会会員へのメリットがあると良いのですが…。

文化に触れて心豊かに

須恵町民憲章の中に、「教養を高め文化を育て、明るい町をつくりまします」とあります。

人は、音楽や芸術などに触れることで、心の落ち着きや相互の連帯感を生みだします。

「文化に触れる」ことは「心の豊かさ」を育むためにとても重要であり、須恵町民が心豊かになることが、須恵町が目指す安全で安心なまちづくりにつながっていくのではないのでしょうか。

※対談中は、撮影時のみマスクを外してもらいました。